

# 欧州連合第7次枠組計画 ICT 部門への参加条件及びプロセスに係る実情調査 概要

## 調査の目的

第7次枠組計画（FP7）は欧州連合の研究開発支援政策の中で最も重要なものであり、とりわけ ICT 部門には、最も多くの予算が割り当てられ、知識経済の根幹として、そして他の部門や社会の発展をもたらす技術として、重要視されている。

NICT をはじめとする日本の研究機関の参加も大いに期待されているところであり、今後、研究者がこの計画への参画に際し役立てるべく、実際に参加する際の条件や義務等について調査した。

## 報告書のポイント

本報告書では、プロジェクトへの参加に役立つより具体的な情報の収集に努めるため、欧州委員会が公表している膨大な資料をもとに、以下のようなポイントを中心に情報を収集した。

また、欧州各国には、ナショナルコンタクトポイント（以下 NCP と略す）と言われる組織が設置されており、研究者の FP7 参加支援に当たっている。NCP として実際に業務を行っている者の生の声を収集するため、フランスで ICT 部門の NCP が設置されているユビフランスおよびテレコム研究院を訪れ、担当者にヒアリングを行い、ヒアリングの議事録を収録した。

- FP7 への一般参加規程（参加資格および参加形態）
- 研究プロジェクトへの参加プロセス
- 研究開発コンソーシアムの形成規程とプロセス
- 助成金の受給
- 研究開発実施期間中の手続きと義務
- 研究成果の普及・使用・アクセス権利等
- ブラジルとロシアとの共同公募の実施状況
- コンタクトポイントへのヒアリング模様

## 調査実施期間

平成 23 年 5 月から平成 23 年 6 月

2011 年 7 月 1 日  
NICT 欧州連携センター